

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 21 年 1 月 22 日 (2009.1.22)

【公開番号】特開 2006-178945 (P2006-178945A)  
 【公開日】平成 18 年 7 月 6 日 (2006.7.6)  
 【年通号数】公開・登録公報 2006-026  
 【出願番号】特願 2005-348031 (P2005-348031)  
 【国際特許分類】

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 17/30 4 1 9 B

G 0 6 F 17/30 1 7 0 G

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 11 月 28 日 (2008.11.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ファイル形式でプレゼンテーションを表す方法であって、前記プレゼンテーションに関連付けられたモジュール部分が前記ファイル形式に書き込まれる各部分を含み、

前記ファイル形式のプレゼンテーション部分を書き込むステップと、

前記プレゼンテーション部分にスライドマスタ関係型を照会するステップと、

前記プレゼンテーション部分とは別に前記ファイル形式のスライドマスタ部分を書き込むステップと、

前記スライドマスタ部分と前記プレゼンテーション部分との間の関係を確立する部分と

、

前記スライドマスタ部分とは別にスライドレイアウト部分を書き込むステップと、

前記スライドレイアウト部分と前記スライドマスタ部分との間の関係を確立するステップと、

各モジュール部分は、その他のモジュール部分がロック可能な状態のままである間に別個にロックされるステップと、

複数のエディタがそれぞれ同時に前記ファイル形式のモジュール部分を編集することができるステップと、

を備えることを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記プレゼンテーション部分とファイル形式コンテナとの間の関係を確立するステップをさらに備え、前記ファイル形式コンテナは、

前記ファイル形式に関連付けられた組み込み属性を含む文書属性部分と、

前記ファイル形式に関連付けられたサムネイルを含むサムネイル部分と

を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記スライドマスタ部分とは別の、前記プレゼンテーションのスライドを含むスライド部分を書き込むステップと、前記スライド部分と前記スライドレイアウト部分との間の関係を確立するステップとをさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

関係型に関連付けられたモジュール部分を書き込むステップであって、共用される前記モジュール部分は一度だけ書き込まれるステップと、

前記書き込まれたモジュール部分の関係を確立するステップと  
をさらに含むことを特徴とする請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記関係型に関連付けられた前記モジュール部分を書き込むステップは、

前記プレゼンテーションのスタイルに関連付けられたデータを含むスタイルシート部分を書き込み、前記スタイルシート部分と前記スライドマスタ部分との間の関係を確立するステップと、

前記スライドに関連付けられた注釈を含む注釈スライド部分を書き込み、前記注釈スライド部分と前記スライド部分との間の関係を確立するステップと、

電子メールエンベロープデータを含むメールエンベロープ部分を書き込み、前記メールエンベロープ部分と前記プレゼンテーション部分との間の関係を確立するステップと、

前記プレゼンテーションに関連付けられたコードを含むコードファイル部分を書き込み、前記コードファイル部分と前記プレゼンテーション部分との間の関係を確立するステップ

の内の少なくとも 1 つを含むことを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記関係型に関連付けられた前記モジュール部分を書き込むステップは、

a) 前記プレゼンテーションに関連付けられたデータを検査するステップと、

b) 前記検査されたデータがモジュール部分に書き込まれているかどうか判定するステップと、

c) 前記検査されたデータが前記モジュール部分に書き込まれていないとき、前記検査されたデータを含めて前記モジュール部分を書き込み、前記プレゼンテーションに関連付けられた他のデータを検査し、b) から d) までを繰り返すステップと、

d) 前記検査されたデータが前記モジュール部分に書き込まれているとき、他のデータを検査し、b) から d) を繰り返すステップと

を含むことを特徴とする請求項 3 に記載の方法。

【請求項 7】

前記モジュール部分は、

参照するモジュール部分のスタイルに関連付けられたデータを含むスタイルシート部分と、

前記プレゼンテーションに関連付けられた配布資料のスタイルを定義することに関連付けられたデータを含む配布資料マスタ部分と、

前記スライドに関連付けられた注釈を含む注釈スライド部分と、

前記注釈に関連付けられた注釈スライドのスタイルを定義することに関連付けられたデータを含む注釈マスタ部分と、

前記プレゼンテーションに関連付けられたコメントを含むコメント部分と、

前記プレゼンテーションに関連付けられたサムネイルを含むサムネイル部分と、

前記プレゼンテーションのユーザが電子メールを介して前記プレゼンテーションを送っているエンベロープデータを含むメールエンベロープ部分と、

前記プレゼンテーションに関連付けられたコードを含むコードファイル部分

の内の少なくとも 1 つをさらに含むことを特徴とする請求項 5 に記載の方法。

【請求項 8】

前記モジュール部分は、

前記プレゼンテーションに関連付けられたイメージデータを含むイメージ部分と、

前記プレゼンテーションに関連付けられたオーディオデータを含む音声部分と、

前記プレゼンテーションに関連付けられた動画データを含む動画部分と、

前記プレゼンテーションに関連付けられたオブジェクトを含む埋め込みオブジェクト部分と、

前記プレゼンテーションに読み込まれ、変更されることのできるカスタマイズされたデータを含むユーザデータ部分と、

前記プレゼンテーションに関連付けられたフォントを定義するデータを含むフォント部分と、

描画プラットフォームを使用して作成されたオブジェクトを含む描画オブジェクト部分の内の少なくとも1つをさらに含むことを特徴とする請求項4に記載の方法。

【請求項9】

前記モジュール部分の少なくともいくつかはコレクション型に編成されており、前記コレクション型は、

前記コメント部分を含むコメントコレクションと、

前記描画オブジェクト部分を含む描画コレクションと、

前記フォント部分を含むフォントコレクションと、

前記プレゼンテーションの他のモジュール部分に関連付けられた埋め込み文書を含むモジュール部分を含む下位文書コレクションと、

前記イメージ部分を含むイメージコレクションと、

前記スライドレイアウト部分を含むスライドレイアウトコレクションと、

前記配布資料マスタ部分を含む配布資料マスタコレクションと、

前記スライドマスタ部分を含むスライドマスタコレクションと、

前記注釈マスタ部分を含む注釈マスタコレクションと、

前記動画部分および前記音声部分を含むメディアコレクションと、

前記注釈スライド部分を含む注釈スライドコレクションと、

前記スライド部分を含むスライドコレクションと、

前記スタイルシート部分を含むスタイルコレクションと、

前記埋め込みオブジェクト部分および前記ユーザデータ部分を含む埋め込みコレクションの内の少なくとも1つを含むことを特徴とする請求項5に記載の方法。

【請求項10】

前記モジュール部分に関連付けられた前記関係型は、フォント関係と、潜在的に有害なコードファイルを識別することのできるコードファイル関係と、ユーザデータ関係と、スタイルシート関係と、コメント関係と、埋め込みオブジェクト関係と、描画オブジェクト関係と、イメージ関係と、音声関係と、動画関係と、メールエンベロープ関係と、文書属性関係と、サムネイル関係と、スライド関係と、注釈スライド関係と、スライドマスタ関係と、スライドレイアウト関係と、ファイル形式コンテナ埋め込みオブジェクト関係の内の少なくとも1つを含むことを特徴とする請求項3に記載の方法。

【請求項11】

前記スライドのコンテンツは、前記プレゼンテーションから抽出されることおよびコピーされることの1つと、および異なるプレゼンテーションで再利用されることができることを特徴とする請求項3に記載の方法。

【請求項12】

前記モジュール部分は、モジュール部分が問い合わせられるときに、前記プレゼンテーション内のコンテンツに関するセマンティクスを提供することができることを特徴とする請求項3に記載の方法。

【請求項13】

前記スライドは、前記プレゼンテーションのオーサリングコンテキストで作成され、前記スライドは、前記プレゼンテーションから抽出されることおよびコピーされることの1つと、および異なるプレゼンテーションに移されることができ、前記スライドは、さらに、前記スライドがあたかも前記異なるプレゼンテーションのオーサリングコンテキストで作成されたかに見えるように変更されることができることを特徴とする請求項3に記載の方法。

【請求項14】

前記プレゼンテーションの各スライドの高解像度サムネイルプレビューを提供することができることを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 15】

マークアップ言語形式およびバイナリ形式の少なくとも 1 つに従ってフォーマット設定されることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 16】

コンピュータに、ファイル形式のモジュール部分が前記ファイル形式に書き込まれる各部分を含むファイル形式でプレゼンテーションを表させる制御論理が格納されているコンピュータ可読媒体を含むコンピュータプログラム製品であって、前記制御論理は、前記コンピュータに、

前記ファイル形式のプレゼンテーション部分を書き込む、

前記プレゼンテーション部分にスライドマスタ関係型を照会する、

前記プレゼンテーション部分とは別に前記ファイル形式のスライドマスタ部分を書き込む、

前記スライドマスタ部分と前記プレゼンテーション部分との間の関係を確立する、

前記スライドマスタ部分とは別にスライドレイアウト部分を書き込む、

前記スライドレイアウト部分と前記スライドマスタ部分との間の関係を確立することをさせるコンピュータ可読プログラムコードを含むことを特徴とするコンピュータプログラム製品。